

# ハイタッチ通信 10月号

E-mail : [contact@high-touch.info](mailto:contact@high-touch.info)



## 🍷🍷の秋、到来！📅🖍️

- 🌸 長かった暑い暑い夏が過ぎ、やっと秋の涼しさを感じられる日が増えてきましたね。  
今年の夏は、6月から気温35度以上の猛暑日が現れ、梅雨明けも早く、昨年よりも辛い夏になりました。なんと、9月半ばには猛暑日と熱帯夜がそれぞれ60日に達し(史上初!)、気候変動の深刻さを感じさせられました。  
夏の疲れと気温差から、体調を崩しやすい時期です。子どもたちはもちろん、ご家族の皆さんも引き続き体調にはお気を付けください。
- 🌸 ○○の秋、という言葉がありますが、皆さんは何を想像しますか？子どもたちにも、好きなことや得意なことをたくさん見つけてもらい、保護者の皆さんと共有していきたいと思えます。やってきた秋を、めいっぱい楽しんでくださいね♪
- 🌸 先月は、風船あそびや足裏の感触マット、玩具で好きな遊びを楽しみました。  
風船あそびでは、風船に興味を持って触れるかな？頭上の風船をしっかりと目で追えるかな？一人で何回つけるかな？相手を意識してラリーができるかな？など、いろんな視点で楽しみました。足裏感触マットは、足裏からの刺激で自分が「ここに立っている！」と実感してもらったり、ちくちくの感触を少しずつ受け入れることで他の場面での関わりも受け入れることに広がったり、何でできているのか素材を研究する姿もありました(笑)  
10月も色々な場面をお伝えしていきます！

### 10月の療育① お出かけ遊び

◎ねらい：

- ・感覚の調整力を高める
- ・姿勢やバランス感覚を安定させる
- ・集中力や注意力が高まる
- ・イメージを他者と共有して楽しむ

◎内容：ハイキングや動物園、虫探しなど、サーキットをお出かけに見立てて身体をしっかりと使って運動遊びに取り組みます。



### 10月の療育② キネティックサンド

◎ねらい：

- ・指先や手のひらでキネティックサンドの感触を楽しみ、精神的な安定を図る。
- ・つまむ、丸める、上から降らす、押し潰すなど、様々な指先の使い方を体験する。

◎内容：感触の苦手なお友達は、好きなものを取り入れながら、少しずつ慣れてもらいます。感触が好きなお友達は、しっかり手(や足!)で思う存分触って遊び、宝探しやごっこ遊びで色々な遊び方を体験します。



## 🍎 ハイタッチからのお願い 🍎

- ・ハイタッチ通所用のかばんのご用意を引き続きお願いいたします。できるだけ水筒もお子さんが自分で持って来るようにしていただき、来所時の準備を自分でできるよう見守っていただけたら嬉しいです。ご協力いただけると幸いです。
- ・お家のご都合や体調不良などでお休みをされる場合があると思います。同じ月内であれば他の曜日に振替が可能です。ハイタッチは週 1～2 回利用の場合がほとんどです。一度お休みしてしまうと次回の療育まで間が空いてしまいます。コンスタントに利用してもらうことで子どもたちの姿をしっかりと把握し、より良い支援に繋げることができます。子どもたちの変化や成長を保護者の皆様と共有したいと思っています。  
また、児童発達支援事業は 1 回の利用ごとに利用料が発生する仕組みになっています。祝日などお休みが多い月などは施設の収入が不安定になってしまうのが大きな問題の一つです。急なお休みだけでなく、利用日が祝日に当たってしまったり、ご家庭のご都合でお休みされる場合も振替ができますので、ご予約が分かり次第できるだけお早めにご相談ください。よろしくお願いいたします。

## 🌻 受給者証の更新について 🌻

- ・受給者証はお誕生月での更新となります。また、住所や利用日数の変更、相談支援事業の追加などでも更新され、新しい受給者証が届きます。お手元に新しいものが届きましたら、お手数ですがハイタッチにお持ちください。



## 「お願い」のおねがい ～ 子どもたちの「できた！」を確かなものにするために

おやつタイムの後、子ども一人一人が自立課題「ワーク」に取り組みます。ワークの課題は2個から3個。マッチングなどは振り返りでも見ていただいています。子どもに合った教材を用意しています。子どもたちは椅子の左横に課題のかごを置き、①初めの一つを取り出し、②机上で課題に取り組む。③出来たらかごへ片付け、椅子の右横へ置く。④左のかごの課題が無くなったら終わり～というルールです。課題を一人でやり遂げた時、「できた！」と子どもの満足げな顔と喜びの声が出ると指導員もうれしくなります。

課題となる教材は、保護者様のお話からも参考にして、指導員が個々の子どもさんの特性を考慮して作っています。子どもたちは視覚的な情報を得意とするので、見て分かりやすいというのがポイント。容器などを固定して課題に集中できるようにしたり、穴の周辺に色を付け物を入れる場所を明瞭にするなど、子どもたち自身で取り組み「自分でできた！」と実感できるようにしています。

❤️ 自分ではじめて ❤️ 課題を分かって取り組み ❤️ きちんと片付ける～という流れを目指しています。だからこそ、継続して参加していただきたいのです。